

クラス番号	627	担当教員名	斉藤 雅茂
テーマ	高齢者の保健・医療・福祉ニーズと社会福祉調査		
著書・論文 研究課題等	<ul style="list-style-type: none"> ● Saito M. et al. (2019) Reduced long-term care cost by social participation among older Japanese adult: A eleven-year follow-up study in JAGES. <i>BMJ Open</i>. 9:e024439. ● Saito M. et al. (2019) Relative deprivation, poverty, and mortality in Japanese older adults: a six-year follow-up of the JAGES cohort survey. <i>The International Journal of Environmental Research and Public Health</i>. 16: 182 ● Saito M. (2019) Healty aging: IADL and functional disability. Kondo Katsunori ed <i>Social Determinants of Health in Non communicable Diseases</i>, Springer. (in press) ● 斉藤雅茂 (2018) 『高齢期の社会的孤立と地域福祉；計量的アプローチによる測定・評価・予防策』明石書店 ● Saito M. et al. (2017) Development of an Instrument for Community-Level Health Related Social Capital among Japanese Older People: The JAGES project. <i>Journal of Epidemiology</i>. 27(5): 221-227 		

ゼミナール概要

キーワード：社会的孤立・孤立死，介護予防，認知症，貧困，健康格差，幸福な老い，セルフ・ネグレクトなど
 専門領域）社会福祉学，社会老年学，公衆衛生学，社会疫学，高齢者福祉，地域福祉，社会福祉調査

目的、内容、方法等：

私たちもいつか高齢者になります。高齢者の幸せ（Well-being）を考えることは私たちの未来を考えることでもあります。この演習では、主に高齢期の諸問題に焦点をあて、個別援助の方法論だけでなく既存の調査研究の動向を共有しながら、皆さんの関心を深めていきます。卒業論文のテーマは、上記のキーワードに記載したものを含め、高齢者の保健・医療・福祉ニーズに関するものの方が専門的な指導が行えますが、皆さん自身の「問い」や「強み」を大切にしたいと思っています。データ解析・統計解析に挑戦したいという方には個別にサポートします。最終的に全員が「学士号」として恥ずかしくない水準の卒業論文になるよう指導しています。3年前期には卒業論文に関連したレポートを提出してもらい、添削および反省会を行います。例年、春休みには卒業研究の中間報告会を行っています。フィールド・ワークやゲスト講師についてはゼミ・メンバーの希望を踏まえて調整したいと考えています。

授業計画：

- － 3年前期には、改めて現在の高齢者福祉および介護保険に関する基礎的な統計や諸制度をおさえていきます。そのうえで、学術研究とは何なのか、どのように進めたらよいかを改めて確認していきます。各自の関心に即した学術論文の蒐集方法を演習し、輪読を通して学術論文のスタイルと読み方を習得します。それらを踏まえて、レポートおよび卒業研究計画書にまとめます。
- － 3年後期には、卒業論文で取り組む課題（問い）を焦点化し、個別指導とグループワークを通じて、卒業論文の執筆構想に関する議論を重ねていきます。なお、この時期は実習とも重なるため、参加メンバーの希望に合わせて適宜演習内容を調整します（PCのスキルアップ演習や統計解析入門、調査票作成体験など）。
- － 4年次は主に執筆中の卒業論文をピアレビューし、お互いに課題を確認していきます。就職活動や公務員試験など他の予定をあらかじめ予測して、計画的に卒論を終えるように指導しています。たとえば、国家試験を控えている人には夏休みまでに卒業論文の完成を目指しています（あとは個々の努力次第です）。

担当教員からのメッセージ



ゼミは何かを与えてもらえる場ではありません。卒業研究を通じて、自ら問いを立てて探求して何かを発見し、発信することの「楽しさ」を味わってもらえたら嬉しいです。多少不器用でも努力することをいとわない方や誠実な方は大歓迎です。他方で、他人がやってくれるのを待ちたい人や「いかにラクして単位を取得するか」が最優先事項の人にはお勧めしません。4年間の集大成として、与えられた課題をこなすだけでなく、皆さん自身の「強み」を活かして様々なことにチャレンジし、一緒に実りの多いゼミにしていきたいと思います。